

# おもいやり

— 中央東地区社協だより —

## 第57号

発行 中央東地区  
社会福祉協議会  
事務局 鎌ヶ谷市東初富  
1-10-1  
(東初富公民館内)  
電話・FAX 442-5144  
編集 広報啓発委員会



ふれあい祭り手作りクリスマス会



### 中央東地区社協規約の一部改定が承認

去る8月24日(水)中央東地区社会福祉協議会運営委員会で規約の改定案が承認されました。当地区社協の規約改定は平成9年以来のことで、近年地区社協の主な活動は委員会・部会を中心に動いておりますが、以前の規約はその位置づけや任務が必ずしも明確になっていないといえませんでした。そのため、総務的業務も担っている広報啓発委員会が中心となって、地区社協役員も入っていた、14年ぶりに規格内容を現在の活動の実態に合わせて見直しを行い、成案を運営委員会に上程したものです。

改定の主な内容は左記のとおりです。

一、運営委員で構成される運営委員会は地区社協の最高決定機関であることを明確にしました。

一、役員会は地区社協の執行機関であることを明確にしました。

一、役員会の構成メンバーに委員会及び部会の長を加えて、地区社協活動の具体的内容を役員会で審議調整できるようにしました。

一、監事の役割を明確にし、常時地区社協活動の監査ができるよう、役員会に出席して意見を述べることができるようになりました。

一、委員会及び部会を別表で明記し、委員会及び部会には運営委員外でも参加委嘱できるようにしました。

なお、事業実施要綱は平成3年に決められたものがありますが、これについては各委員会・部会で年度計画を策定する際に、見直していただきます。

### 地区社協の仕事・車いすも貸し出す

中央東地区社協は、運営資金を鎌ヶ谷市社協から受けて活動しています。そのため市社協と連携しています。地区社協は地域の皆さんのご協力をいただきながら地域と一体となって、地域に密着した地域福祉活動に取り組んでいます。

必要のある方への車いすの貸し出しも行っております。これからも地域福祉コーディネーターとして各種福祉情報の提供に力を入れていきます。さらに災害時には緊急避難所で活用できる各種部品も備蓄しております。事務所は東初富公民館一階入口から右側にあります。どうぞ気軽にお立ち寄り下さい。

### ◆寄せられた善意

ありがとうございました

- ニッポ一株式会社様より
- クリスマス会にお菓子の詰め合わせ
- 中村晃様より 3000円
- 中村晃様より 手作り箱

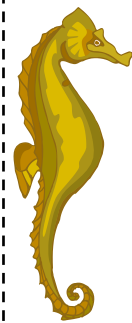
### ◆シート交換ボランティアさん募集

場所 特別養護老人ホーム翔裕園  
毎月 第4水曜日(8月・12月除く)  
午前10時~12時頃  
持ち物 室内履き・エプロン  
(中央東地区社協) ☎四四二・五一四四

### 【編集後記】

「絆」の文字を見聞きすることが非常に多くなっています。東日本大震災以来、その重みが増え、昨年の漢字に選ばれるのも納得できます。

地域福祉の原点も「支えあいの絆」であると思いますので、口にするだけでなく、絆を信じて、ひとつでも多く行動に移す年にしたいものです。



### 「ありがとう」 「手伝います」

恒例の高齢者と子どもと障がい者のふれあいクリスマス会は、12月4日東初富公民館で開催されました。

会場の準備は、小・中学生やその他参加者が皆で、舞台作り・壁に貼り付ける飾り絵・ツリー・会場飾り・ケーキ作りなどで活躍しました。

アトラクションでは、全国大会特別金賞を受賞した鎌ヶ谷五中ギター部の演奏に酔い、初富小音楽部の楽しい合奏・手遊びに頬を緩ませた参加者から「ありがとう」の声があふれていました。

中学生には閉会後の会場の後片付けも手伝っていただき、帰りには小・中学生ともに「参加させてもらってありがとう」「さいました」と揃って、挨拶して帰っていかしました。

中央東地区社協の活動範囲は  
鎌ヶ谷東第1区連合自治会・東武鎌ヶ谷自治会・南初富連合自治会です。



**給食や昔の話も一緒に**

五本松小では11月25日に3年生の授業に地域の高齢者と児童の交流会を、地区社協と学校の協力で実施しました。けん玉・お手玉・コマ・笑福踊りなどを一緒に楽しんだ後、給食を一緒にいただき、机を囲んで昔の話に目を輝かせる子どもたちに感動している高齢者もいました。核家族化のなかでの「ふれあひ」の貴重な経験になっています。

**初まつりに展示PR**

11月19日初富小PTA主催の秋祭りに今年度は初小・五中・鎌高と共に中央東地区社協が参加し、それぞれが取り組んだ地区の福祉教育活動の紹介パネルを掲示して、児童・保護者など来場者にアピールしました。

さらに、今年度はその会場で、小・中学校の児童・生徒が中心になって、「東日本大震災義援金」募金活動を行いました。



**自治会敬老会にも児童たち**

各自治会が実施の「敬老祝賀会」に今年度も、初富小音楽部の演奏・手遊び、五本松小合唱部の合唱で高齢者を感激させていました。

# 体験で福祉を学んでいる小・中・高校生

## 地域も学校に協力して福祉教育を連携推進

中央東地区社協が福祉教育推進団体に指定されて2年目になりますが、同時に指定された初富小、五中、鎌高それぞれの学校では福祉教育の推進が工夫されています。私たち地域住民としても地域福祉の大切さを、将来を背負う子どもたちに伝えていく必要があります。当地区社協では、三校との連絡会議を通じて、福祉教育に地域が協力できることは何かを検討し、従来の活動を教育の面から見直して、新しい試みに地域住民の協力を得て取り組んでいます。それらの活動を通して児童・生徒にふれあうことで大人として自ら学ぶことも多く、今後交流を続け、住民皆で地域福祉を考える機会とし、推進していきます。



**手作りはがきで交流進む**

例年、小学6年生(初小・五本松小)に協力してもらい、地域の一人暮らしの高齢者に季節の便りを書いていましたが、今年度は中学生(五中)と高校生(鎌高)も参加してくれました。また8月には小学生に参加してもらって、牛乳パックから手すきのはがき作りに初挑戦。味わいあるはがきに仕上がりました。



**昔遊びに腕前発揮の地域の人**

「昔遊び」が授業や校内行事に取り入れられています。五中の木犀祭では、地区社協の運営で、けん玉・コマ・あやとり・お手玉は地域の人の指導で小・中学生が楽しみ、百人一首は鎌高生徒の模範演技と指導で小・中学生が夢中になりました。地域の人が考案した手作り木製遊具に熱中する子どももいました。遊びのほか災害時などに生かせるロープワーク(縛り方等)の指導も好評でした。

初富小の一年生の授業「むかしあそび」に地域の十五名が、体育館で全クラスの児童と楽しみながら指導交流しました。



### 障がいについて講演で学ぶ

「支え合いの地域社会づくりをめざして」ご自身が視覚障がい者でもある高梨憲司氏の講演会を平成22年11月に、地区社協主催で学校関係者にも呼びかけて実施しましたところ、障害について直接学ぶことができ好評でした。鎌高でも23年7月に同講師による講演会を、全校生対象に開催し、「福祉「障がい者」を正しく理解する研修を行いました。

### 地区社協の年間主要事業

- ◎地区ふれあひ祭り(梨狩り)
  - 9月上旬、高齢者・障がい者を招き、参加者同士の交流を深めるために実施
- ◎地区ふれあひ祭り(クリスマス会) ※1面参照
- ◎ボランティア支援活動
  - 介護施設の「シート交換ボランティア」を募り毎月一回実施。
- ◎介護予防教室開催
  - 年四回、回覧で呼掛け、健康体操やウォーキング・病院講演会等を実施
- ◎援護グループ勉強会
  - 地区内援護グループを対象に年一回開催
- ◎ミニハピリ教室
  - 月一回、要支援者とボランティアで、街の清掃活動やゲーム・カラオケ等を行う
- ◎広報紙の発行と啓発活動
  - 地区社協広報紙発行とパネルにより地域福祉の啓発活動を行う
- ◎コーディネート活動
  - 地域福祉に関する相談窓口
  - 緊急避難所活用準備品管理